

# クルリンと ほしぞらさんぽ 2月号



## 今年によく晴れますように!! 夜に晴れて…

1月には晴れた夜が続きましたね。ほしぞらさんぽ、しましたか? 晴れたら短い時間でもほしぞらさんぽしましょうね。回数を重ねると星座のことなんか自然によくわかってきますよ。

## 冬の星座がいま 見ごろ

冬の星空はほしぞらさんぽ向き、見上げるとたくさん星がとてもきれいに、見えていますね。冬の星空はきれいだと言われますが、なぜでしょうか。理由は一つではないようです。

(1) 冬は日没が午後4時台で、皆さんが生活している時間帯に星空が見えてきて、星を目にする機会が増えるということがあるでしょう。

(2) 冬の空気は湿り気が少なくなって、星がすっきりと見える夜が多いようです。もともと空気の中には目に見えない水蒸気がいつでもたくさん包み込まれていますが、冬の北風はその水蒸気を雪にして新潟県など日本海側にみんな落っことしてきます。だから伊勢原を吹き抜ける時の冬の風は、雪を降らせた後の湿り気が少ない空気なのですね。

(3) 冬の星座には明るい星がたくさんあります。でも春と秋の星座には明るい星が少ないのです。冬の空にはもともと星がたくさん見えるので、ああきれい、と思えるのでしょうか。

## 冬の空の明るい星を数えてみましょう。

冬を代表する星座をいくつか言えますか。

オリオン座、おおいぬ座、おうし座、ふたご座、ぎよしゃ座、なんてありますね。ではおもな1等星の名前は言えますか?

おうし座のアルデバラン、オリオン座のベテルギウスとリゲル、おおいぬ座のシリウス、ふたご座のポルクス、ぎよしゃ座のカペラ、こいぬ座のプロキオン、ですね。覚えるときは星座の名前もいっしょにくっつけて覚えましょう。「ぎよしゃ座のカペラ」というように。

## 星図

名前だけではなく、

星空を見上げたときにすばやく見つけて指さして「あれはシリウスだよ」なんて言えたらカッコいいね。それには「星図」がないと。パソコンやスマホでも星図が見られますが、それでは頭に入りません。どうしても紙の星図。例として冬の大きっぱな星図をのせておきました。

市立図書館の児童書・自然科学のコーナーには、星座の本が何冊も並んでいます。本を借りて星図を書き写しましょう。写真やコピーでなくノートに手書きで書き写すと、皆さんの柔らかい頭なら1回で覚えてしまうと思います。ぜひやってみてください。



